

2学期の始まりにあたって

- 本日から第2学期が始まりました。コロナウイルス感染の状況が厳しい中でのスタートとなりましたが、生徒の健康・安全の確保に力を尽くすとともに、生徒たちが着実に成長できる学期にしたいと気持ちを新たにしています。
- 始業式は、体育館に集まるのではなく、各教室をリモートでつないで行いました。
- 私からは二つの言葉、「守る」と「自分から」をテーマに話しました。
- 「守る」については、改めて感染症から「健康・安全」を守るための新しい生活様式の徹底を呼びかけるとともに、コロナウイルス感染に関する憶測や詮索、そして差別やいじめが起こらないよう、お互いの人権を守るよう、強く訴えかけました。
- また、「自分から」については、次の事例を引用しました。
- 「仕事」への関わり方として、『「しなさい」と一方的に指示を受けて取り組んだ場合」の仕事効率を「1」とすれば、「指示を受けた後、仕事の意味を理解し、納得して取り組んだ場合」の効率は「1.6」倍に、「はじめからその意味や大切さを自分から考えて取り組んだ場合」の効率は「2.56」倍になったそうです。
- このことは、受け身ではなく自分から考えて取り組んでいくことの大切さを示していて、様々な場面に活用できそうです。
- コロナの影響で例えば学習活動が制限されても、1時間の授業で学習課題の解決に取り組むとき、そしてその時間で自分が何を学んだのかを振り返るとき、自分から考え、頭を働かせることが大事であることを話しました。
- また、このような状況だからこそ、皆が安心して楽しく過ごせるような目配りや気配り、言葉かけを自分から進んで行うこともお願いしました。
- そうしたことを意識して行動として積み重ねていくことで、一人一人が着実に成長できる充実した2学期になることを期待しています。



感染拡大防止の取り組み

- メール等でお知らせした部分もありますが、現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のために取り組んでいることについて、以下に改めて示します。保護者の皆様のご理解とご協力もお願いいたします。
- 【学校生活において】
- 生徒、職員ともに校舎内での正しいマスク着用を徹底します。
- 教室等の換気は基本的に常時2方向(できれば対面)を同時に開けて行います。
- 「最大限の間隔の確保」、「マスク着用」、「十分な換気」のもと、近距離・長時間での対面活動を避けます。
- 校外での学校行事、密集して長時間活動する学校行事や体育館において複数の学年が集まる集会等は当分の間見合わせます。
- 大勢がよく手を触れる箇所(ドアの取っ手、スイッチ等)は、1日に1回消毒します。
- 部活動は、8/29(日)まで中止します。
- 部活動再開は今後の状況をみて判断します。再開後も、県の「まん延防止等重点措置」が延長された9/12(日)までの対外試合等は、公式試合を除き、練習試合も含め行いません。
- 【保護者の皆様へ】
- 昨日のメール及び本日配付した「～学校・家庭等における感染防止対策についてのお願い～」をご確認ください。
- 県の警戒レベル4以上の際、生徒の同居家族全員の健康チェックに協力願います。同居家族に発熱等の風邪症状が見られる時は、その症状が治まるまで登校を控えてください。
- 生徒に発熱、喉の違和感などの風邪症状、倦怠感、息苦しさ、味覚・嗅覚に障がいがあれば、登校させずに速やかにかかりつけの医者や発熱外来等に連絡・相談してください。
- 生徒に発熱や風邪症状等がある場合には村内小中学校の兄弟姉妹を含めて早退としますので、お迎えをお願いします。
- 熱中症予防のため身体的距離が確保できる場合を除いて、登下校中においてもマスクを着用するようご指導願います。